



あさひ台

学 校 報
第 499号
R4. 8. 26
五城目小学校

学校教育目標

夢高く 心たくましく 学び合う五小の子
～ つなぐ ひらく つくる ～

本校の防災教育

このたびの豪雨により被災されました方々に対しまして、心からお見舞い申し上げます。お子様のことで心配や不安なことなどがございましたらご相談ください。皆様が一日も早く平穏な生活に戻られますことをお祈り申し上げます。

本校では学校安全計画・危機管理マニュアルを作成し、危険等が発生した際に教職員が的確に対応して子どもたちの安全を確保することができるようにしています。また、防災教育の計画を作成して、子ども自身が自分の命を自分で守るために、自分で判断し行動することができるよう、発達段階に応じた指導を行っています。各学年の防災教育の指導目標は次のとおりです。

低学年	中学年	高学年
<ul style="list-style-type: none"> ・災害発生時には、教師や大人の指示に従うなど、適切に行動できるようにする。 ・災害発生後には、進んで家の手伝いをするなど、家族の役に立つことができるようにする。 ・地震や津波、自然災害などの発生メカニズムやそれらに備えた地域の防災体制があることを理解できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害発生時には、教師や大人の指示に従うとともに、状況に応じて自分の命を守るために適切に行動できるようにする。 ・災害発生後には、進んで家族や友達などみんなで協力して助け合うことができるようにする。 ・地震や津波、自然災害などの発生メカニズムやそれらに備えた地域の防災体制の仕組みを理解し、活用できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害発生時には、自ら危険を予測し、自分の命を守り抜くために主体的に行動できるようにする。 ・災害発生後には、家族や友達、周囲の人々と助け合うとともに、ボランティア活動に進んで参加できるようにする。 ・地震や津波、自然災害などの発生メカニズムやそれらに備えた地域の防災体制の仕組みや役割を理解し、活用できるようにする。

避難訓練も年間4回（地震、洪水、火災、積雪時）計画し、命を守るための方法を身に付けることができるようにしています。しかし、災害はいつ起こるかわかりません。学校で安全に避難できるだけでなく、学校以外の場所や子どもだけの状況で災害が発生したときも、適切な行動がとれるようになることが重要です。学校では様々な状況を想定して訓練を行っていますが、お住まいの地域の状況に応じた知識や技能を身に付けることも必要です。子どもたちの「自分の命を自分で守る力」をより確かなものにするために、どのような場面で、どのような災害が起こったとき、どのように行動したらよいか、ご家庭で一緒に話し合う機会を作っていただけたら幸いです。

第2回避難訓練は9月6日実施予定でしたが、9月5日（月）に変更します。

（校長 島崎徳之）